

一尊と云ふ夏ハ仁德天皇四拾三年（百濟）  
玉より尊と書と流て獻（もろ）和泉玉とて  
御持と（し）より始る又同し御宇五十年に  
尊書并秀為奇と尊と獻と使（り）形僧（り）  
と（し）後世は帝位（を）握ありと（し）なり又  
清和帝は御宇は高麗より秀逸と尊と  
献と（し）後又尊物と天朝越前（り）敦賀小  
来（り）其名と朱光と云彼朱光は時々帝より  
政頼と遣冷ひて異域へ流（り）延（り）尊云と疑惑